

## ワークショップ以外のコミュニケーションの状況 と寄せられた意見

「地域別実行計画」の検討では、ワークショップをはじめ、広報紙、パネル展示型説明会、コミュニティ会議など、地域の皆さんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

### ● 広報紙（ニューズレター）の配布状況

第1号 （平成28年12月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組みの趣旨、取組みの状況</li> <li>・ 公共施設に関わる課題</li> <li>・ ワークショップの検討状況、今後の予定</li> </ul>
第2号 （平成29年3月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組みの趣旨、取組みの状況</li> <li>・ 課題解決の狙いとなるポイント、対策案</li> <li>・ ワークショップの検討状況、今後の予定</li> </ul>
第3号 （平成29年7月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組みの趣旨、取組みの状況</li> <li>・ 北区役所新庁舎基本構想概要</li> <li>・ ワークショップの検討状況、今後の予定</li> </ul>

### ● パネル展示型説明会（オープンハウス）の実施状況

#### 第1回パネル展示型説明会

- ・ 開催日（開催場所）：  
平成28年12月26日（北区役所）、27日（豊栄地区公民館）
- ・ 方法：パネル展示（12枚）、職員からの説明、意見聴取
- ・ 意見提出者数：25人



#### 第2回パネル展示型説明会

- ・ 開催日（開催場所）：  
平成29年 2月25日（北区文化会館）  
（北区まちづくりフォーラムと同時開催）
- ・ 方法：パネル展示（12枚）、職員からの説明、意見聴取
- ・ 意見提出者数： 6人

## ● 北区郷土博物館協議会委員への説明会

- ・開催日（開催場所）：9月15日（北区役所）
- ・出席者：8人
- ・説明内容：第5回ワークショップ資料の対策案について  
（博物館は耐用年数を迎える頃に、ビュー福島潟エリアへ機能移転など）

### 北区郷土博物館協議会委員への説明会での主なご意見

- ・ 博物館をビュー福島潟エリアへ機能移転することは、「ビュー福島潟」・「博物館」・「福島潟の自然」の三位一体で、相乗効果を発揮して、集客力も高まる。  
移転にあたっては、今後、北区を中心とする住民に重点を置いて活動すべきなのか、あるいは外部の方々にアピールすることを優先させるのか、博物館の方向性・性格を議論することが必要なのではないか。
- ・ 福島潟エリアに移転することによって、環境教育や治水の歴史など、学校の教育活動においても、両方見学できるというメリットがあると思う。ただし、しっかりとした機能を備えた施設にしてほしい。
- ・ 移転にあたっては、博物館の理念を長期にわたって実現できるよう、展示・保存・研究機能の充実、文化の啓発、その柱だけは絶対に失わないで大事にしてほしい。
- ・ 博物館を福島潟エリアに移転するのは基本的には賛成です。20数年後のことなので、時代もニーズも変わると思うので、どういう形で理想を実現していくのか、後進の人たちに任せることがたくさんある。